

校長挨拶

令和6年4月1日、天栄村立天栄中学校の第20代校長を拝命いたしました 市川 知広と申します。保護者の皆様と地域の方々からのご理解とご協力を賜りながら、教職員一丸となって天栄中学校の発展に尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度は、43名の新1年生を迎え、生徒総数109名、7学級での出発となりました。本校は昭和42年4月1日に、広戸中学校、大里中学校、牧本中学校が統合され、今年度で創立58年目を迎えた伝統ある学校です。令和5年3月末に湯本中学校が閉校されたことに伴い、天栄村唯一の中学校となりました。これまでの先人の校長先生方をはじめ先生方や保護者、地域の皆様方が創り上げてきた、この天栄中学校のすばらしい伝統・文化をしっかり繋いでいくとともに、地域の絆づくりの中核を担う場にしたいと考えております。

具体的には、天栄村の基本理念である「村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ 地域コミュニティを核とした天栄だからできる少人数教育」のもと、教育目標である「健康心身ともに健康な生徒」、「向上進んで学習する生徒」、「自立くじけず前進する生徒」の実現に向けて、これから全職員で子どもたちを育成してまいります。

私の考える学校経営の柱は次の4つです。

- 一人一人が大切にされ「夢中」になれる学校
- 安心・安全に学べる「居場所」としての学校
- 地域から愛され、「絆」で結ばれた地域とともにある学校
- 教職員の「個性」と「チームワーク」が発揮される学校

特に今年度は、「ふるさと教育」に重点をおいて活動してまいります。生徒がふるさと天栄の財産である「人・もの・こと」を最大限に活用しながら、夢や目標をもち、自分の生き方を考えることができるよう、総合的な学習の時間「ふるさと・夢プロジェクト」と題して探究的な学習に取り組んでまいります。この学習を通して、『天栄ならではの』教育を目指していきます。

保護者の皆様や地域の皆様、そして子ども達の声に耳を傾けながら、地域の誇りである天栄中学校をさらに発展させるべく、教職員とともに励んでまいります。皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

令和6年4月

天栄村立天栄中学校 校長 市川 知広